

愛	知			
文	化	芸	術	
行	動	プ	ラ	ン

平成15年8月



はじめに

地球規模で人、モノ、情報等が活発に交流する時代を迎え、文化芸術のさまざまな面で、交流による異質なものととの接触、融合などが新たな活動の大きな原動力となっています。

愛知県は、豊かな自然や温暖な気候に恵まれ、我が国の東西文化の接点に位置していますが、2005年の愛・地球博の開催を契機に、国際的な文化交流の拠点性を高めようとする中で、個性あふれる文化の継承・創造と発信を推進し、また、県民一人ひとりが誇りや愛着心を抱く文化的魅力の高い地域づくりをめざすことが求められています。

そこで、本県では、**魅力ある愛知の文化の創造と生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現**を目標として、平成15年度から19年度までの5年間を計画期間とした「**愛知文化芸術行動プラン**」を策定いたしました。

本プランでは、8つの行動目標と12の行動メニュー（取組）を具体化・体系化し、より良い文化芸術環境づくりに向けて計画的に施策を展開してまいりたいと考えております。

プランの推進にあたりましては、県民の皆様方を始め各種文化活動団体、NPOなどさまざまな文化主体の方々からのご意見をいただき、より身近なプランとなるよう努めてまいりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成15年8月

愛知県知事 神 田 真 秋

目 次

序 章	プラン策定の趣旨、計画期間等	1
1	策定に至る経緯及び策定趣旨	1
2	計画期間	2
3	行動プランの性格・役割	2
4	行動プランの策定方針	2
第1章	愛知県における文化芸術振興10年	5
1	中枢的文化拠点の整備・運営と文化発信事業の展開	5
2	文化交流の促進	8
3	文化活動団体等への支援及び連携	9
4	文化情報の提供	10
5	文化財の保存と活用	10
第2章	行動のための視点とめざす文化芸術環境	13
1	本県における文化振興の目標	13
2	行動のための視点とめざす文化芸術環境	13
第3章	新世紀における文化芸術の振興施策の展開	17
	～行動目標と行動メニューの体系～	
1	「創造と発信」の視点からの行動目標と行動メニュー.....	17
	行動目標 1 世界に向けた芸術の創造と発信	
	行動目標 2 県民、芸術家、文化活動団体、NPO、企業、行政など多様な文化主体による連携と協働	
	行動目標 3 愛知の風土や歴史を生かした文化の継承・創造	
2	「感動と体験」の視点からの行動目標と行動メニュー.....	28
	行動目標 4 県民の文化芸術に親しむ機会の拡充	
	行動目標 5 子どもの文化体験機会の充実	
	行動目標 6 文化芸術情報にアクセスしやすい環境づくり	
3	「支援」の視点からの行動目標と行動メニュー.....	37
	行動目標 7 県民の創造的文化活動への支援	
	行動目標 8 伝統・民俗芸能活動への支援	
	愛知文化芸術行動プラン～3つの視点・8つの行動目標・12の行動メニュー～.....	43
	「創造と発信」の視点からの行動メニューと主な施策展開.....	44
	「感動と体験」の視点からの行動メニューと主な施策展開.....	46
	「支援」の視点からの行動メニューと主な施策展開.....	48

資	料	49
	文化活動事業費補助金申請団体に対するアンケート実施結果概要.....	49
	各種文化主体に対するグループ別インタビューの実施結果.....	51
	愛知文化芸術行動プラン検討会議.....	55
	・愛知文化芸術行動プラン検討会議開催要領	
	・愛知文化芸術行動プラン検討会議委員	
	愛知文化行政推進会議.....	56
	・愛知文化行政推進会議開催要領	
	・愛知文化行政推進会議構成課室	
	・愛知文化行政推進会議幹事会について	
	愛知県文化振興ビジョン〈概要〉.....	58
	文化芸術振興基本法.....	60

序 章 プラン策定の趣旨、計画期間等

1 策定に至る経緯及び策定趣旨

(1) 愛知県文化振興ビジョンの更なる推進

愛知県の文化振興施策を総合的に推進するための行政指針である「愛知県文化振興ビジョン」(以下「文化振興ビジョン」という。資料58～59頁参照。)を平成4年3月に策定しました。

文化振興ビジョンは、文化の振興と産業の発展が調和し、魅力ある愛知の文化を創造していくことにより、「世界に開かれた魅力ある愛知」をめざし、生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現に努めることを目標とし、4つの基本方針(「地域の個性を生かす」、「世界的な視野で文化を発信する」、「情報を活用する」、「支援の立場に立って環境づくりを高める」)と各種方策等を掲げ、本県文化行政の礎としての役割を担っています。

文化振興ビジョンの策定後10年が経過し、今日までの文化芸術¹における振興施策の展開実績を踏まえ、上記の目標と基本方針を軸として、更なる文化芸術の振興を図ることが必要です。

(2) 愛・地球博の開催と文化的成果の継承

平成17年に開催される国家的大事業である2005年日本国際博覧会(以下「愛・地球博」という。)を間近に控え、「世界的な視野で文化を発信する」(基本方針)観点から、愛・地球博を支援し、また、愛・地球博終了後もその文化的成果を継承して一層の文化芸術の振興を図るため、より具体的かつ戦略的な文化施策を提案することが必要です。

(3) 「文化芸術振興基本法」の制定

「文化芸術振興基本法」(以下「法」という。)が平成13年12月に制定され、すべての国民が文化を享受する権利や国及び地方公共団体の責務²が明確になり、文化振興ビジョンをより一層具体的に推進することが必要です。

以上の経緯から、「愛知文化芸術行動プラン」(以下「行動プラン」という。)を策定し、文化振興ビジョンの目標の実現に努めます。

2 計画期間

平成15(2003)年度から平成19(2007)年度までの5年間

3 行動プランの性格・役割

(1) 文化芸術の振興に関する中期行動計画

上位計画である文化振興ビジョンを基にして、文化芸術の振興に関する本県の姿勢や役割を明確にし、振興施策を具体的に掲げる中期行動計画です。

(2) 県民の主体的な文化芸術活動の参考指針

ボランティア活動やNPO活動など、県民の主体的な参加を促進する条件整備や各主体の役割や連携・協働の方向を示すことにより、県民の主体的な文化芸術活動の参考指針としても役立つことをめざします。

(3) 愛知2010計画の推進

「愛知2010計画」(平成10年3月策定)や「新世紀愛知づくりに向けての先導的施策プログラム(愛知2010計画中期推進プラン)」(平成14年3月作成)³に掲げる地域づくりの基本方向を踏まえ、文化芸術の振興をめざします。

4 行動プランの策定方針

行動プランの策定にあたっては、学識経験者を始め各文化主体の関係者で構成する「愛知文化芸術行動プラン検討会議」(資料55頁参照。)を設置し、創意ある意見を求めるとともに、さまざまな文化芸術分野に関わる活動主体に対してアンケート調査⁴やインタビュー⁵を実施することにより、各文化領域の方々の御意見や御要望を反映した行動プランとします。

また、行動プランにおける重要かつ戦略的施策に関しては、愛・地球博の開催期を計画期間の中間点と位置づけ、時系列的に記述し、プランの実行性を高めます。

- 1 文化芸術の範囲：行動プランにおいては、音楽・美術・演劇・舞踊・文学などの芸術、映像を始めとするメディア芸術、能楽・文楽・歌舞伎などの伝統芸能、民俗芸能及び華道・書道などの生活文化を総称して「文化芸術」と表現する。
- 2 国及び地方公共団体の責務（文化芸術振興基本法）：

法において、国は、「文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務」（第3条）を、また、地方公共団体は、「文化芸術の振興に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務」（第4条）を有すると規定している。
- 3 愛知 2010 計画中期推進プランにおける「地域づくりの基本方向」：

<世界的な交流・創造を呼び起こす愛知づくり>
交通・通信の発達などを背景に、人、モノ、情報が地球規模で行き交う時代を迎え、様々な面で「交流」による異質なものととの接触が新たな知恵や活動の創出の大きな原動力となっています。
ハード・ソフトの両面から、地球規模の様々な交流ネットワークを形成するとともに、活発な交流活動から生み出される成果を地域の活力に着実に生かしていきます。

<自分らしい生活を送れる安心・安全な社会づくり>
人々の価値観や生活様式の多様化が進む中であって、すべての人が社会の中で様々な役割を果たし、充実した生涯を送ることができる地域づくりをめざしていきます。
また、少子・高齢化の進展など社会の様々な面において構造的な変化が進む中であって、将来にわたって安全で安心して暮らしていくことができる地域づくりに取り組んでいきます。

<循環・共生を基調とした環境先進県づくり>
社会の持続的発展を図るには、大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済システムや生活を見直し、循環と共生を基調としたシステムの構築を図ることが急務となっています。
愛・地球博の開催を契機に環境先進県・愛知の創造をめざし、地域特性を生かして先進的な環境施策を進めていきます。

<創造的な産業・技術中枢圏域づくり>
経済のグローバル化やIT革命の進展、地球的な規模での大競争時代の到来など、本県産業を取り巻く環境は大きく変化しています。
技術革新や新産業の創出に資する研究開発機能の一層の強化や起業・創業の環境整備、産業立地の促進などを図り、産業・技術中枢圏域としての更なる発展をめざしていきます。

<信頼と協働を基礎とした県政の推進>
国・地方を通じて財政が厳しい状況にある一方、地方分権の進展や県民の行政ニーズの多様化・高度化など、行政を取り巻く状況は大きく変化しています。
こうした時代に対応して、質の高い行政運営、サービスの提供を効率的に行うとともに、県民をはじめ多様な主体との協働を図っていきます。
- 4 文化活動事業費補助金の申請実績のある文化活動団体を対象としたアンケート調査（49～50頁参照）。
- 5 県内の各種文化活動団体・文化NPO・マスコミ等30団体に対し、団体毎に数名でのフリーディスカッションを実施し、様々な意見・提言を取材し集約（51～54頁参照）。

第1章 愛知県における文化芸術振興10年

本章では、文化振興ビジョンの策定から現在までの10年間にわたる本県文化芸術の振興施策に関する展開実績を整理します。

1 中枢的文化拠点の整備・運営と文化発信事業の展開

(1) 愛知芸術文化センター

美術館、芸術劇場、文化情報センター及び図書館からなる全国初の大規模複合型の総合芸術文化施設である愛知芸術文化センター（以下「芸術文化センター」という。）は、平成4年10月の全面開館以来3千万人を超える利用者を数え、複合的機能を生かした自主事業を世界に向けて発信しています。

芸術文化センターの施設概要と主な機能について

（平成15年4月1日現在）

施設概要		機 能						
栄施設	美 術 館	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">所蔵品展示室</td> <td style="width: 50%;">収集・展示</td> </tr> <tr> <td>企画展示室</td> <td>展 示</td> </tr> <tr> <td>ギャラリー展示室</td> <td>貸館（一般展示）</td> </tr> </table>	所蔵品展示室	収集・展示	企画展示室	展 示	ギャラリー展示室	貸館（一般展示）
	所蔵品展示室	収集・展示						
	企画展示室	展 示						
ギャラリー展示室	貸館（一般展示）							
芸 術 劇 場	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">大ホール コンサートホール 小ホール リハーサル室</td> <td style="width: 50%;">貸 館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自 主 事 業 <small>（県文化振興事業団主催、文化情報センター主催）</small></td> </tr> </table>	大ホール コンサートホール 小ホール リハーサル室	貸 館		自 主 事 業 <small>（県文化振興事業団主催、文化情報センター主催）</small>			
大ホール コンサートホール 小ホール リハーサル室	貸 館							
	自 主 事 業 <small>（県文化振興事業団主催、文化情報センター主催）</small>							
文 化 情 報 セ ン タ ー	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">（センター施設全体）</td> <td style="width: 50%;">事 業</td> </tr> <tr> <td>アートプラザ</td> <td rowspan="2">情 報</td> </tr> <tr> <td>アートライブラリー</td> </tr> <tr> <td>アートスペース（催事室）</td> <td>交 流</td> </tr> </table>	（センター施設全体）	事 業	アートプラザ	情 報	アートライブラリー	アートスペース（催事室）	交 流
（センター施設全体）	事 業							
アートプラザ	情 報							
アートライブラリー								
アートスペース（催事室）	交 流							
名城施設	図 書 館	資料収集、閲覧・貸出						

ア 愛知県美術館

(ア) 企画展・常設展の開催

愛知県美術館(以下「県美術館」という。)では、20世紀の国内外の美術動向を紹介し、また現在を刻印するとの基本的な考え方の下、さまざまなテーマに基づく創造的な企画展の開催を始め、継続的に収集¹してきた3,682点に及ぶ作品による所蔵品展の開催など、幅広く質の高い個性ある美術館運営を進め、開館以来の来館者の総数は1千万人を超えました。

また、これらの展覧会では、作品の鑑賞に止まらず、定期講演会、ギャラリートーク²をはじめ、学校の先生方を対象とした展示説明会、子供鑑賞会、視覚障害者の方へのプログラムの実施など多彩な教育普及事業も積極的に展開しています。

このほか、県美術館への来館者だけでなく、普段なかなか県美術館へ足を運んでいただけない地域の方々に、より身近な場所で県美術館の所蔵作品を鑑賞できるように、毎年1回移動美術館³を開催しています。

(イ) 県美術館ギャラリー展示室の提供

美術団体主催の展覧会、公募展・グループ展、地域の人々による作品発表等の会場として多くの方々に利用されるなど、100パーセントの利用率を確保、維持しています。

イ 愛知県芸術劇場

愛知県芸術劇場(以下「芸術劇場」という。)は、我が国初の本格的なオペラ上演が可能な機能を備えた大ホール、我が国有数のパイプオルガンを備え優れた音響効果を有するコンサートホール、自由に形式にとらわれない実験的・創造的な舞台芸術に対応できる小ホールの3種類の専用ホールで構成されています。メトロポリタン歌劇場(アメリカ)などの海外一流オペラ公演や毎年地元放送局各社が多彩に繰り広げるクラシックのコンサートシリーズなど、数多くの世界最高レベルの舞台芸術が展開され、開館以来の入場者は600万人を超えています。

ウ 愛知県文化情報センター

愛知県文化情報センター(以下「文化情報センター」という。)では、ジャンルを横断した複合事業⁴を展開し、愛知から独自の芸術文化情報を継続的に発信しています。特に、高い芸術性を有しながらも一般的に認知が十分とはいえない現代舞踊、実験・民族音楽、実験映像など創造性豊かな自主企画事業を開催し、その先駆

的・実験的企画力を高く評価されています。また、今日の多岐・多様化する芸術の最新動向を提示する重要な役割を果たしています。

エ 愛知県図書館

所蔵図書100万冊を超える愛知県図書館(以下「県図書館」という。)では、平成3年4月の開館以来、「県民に開かれた図書館」、「資料情報センターとしての図書館」、「県内市町村立図書館のバックアップを行う図書館」としての活動を続け、国際化、情報化時代に対応した中部圏を代表する図書館となっています。

近年では、県図書館の蔵書だけでなく、県内の他の図書館の蔵書についてもインターネット画面で一括検索できるサービスシステムを開始するなど、情報化時代の図書館のあり方を積極的に提示しています。

(2) 愛知県陶磁資料館

ア 各種展示事業の開催

陶磁に関する文化・産業の発信拠点として屈指の施設である愛知県陶磁資料館(以下「陶磁資料館」という。)は、全国的にも注目を集める質の高い企画展を開催しているほか、総数3,500点に及ぶ豊富な所蔵陶磁資料を常設展示し、平成6年の増築開館以降だけでも100万人を超える方々に利用されています。

イ 附帯施設の活用

陶磁資料館では、陶芸館や県民茶室陶翠庵(とうすいあん)などの施設も備え、子どもから高齢者まで、気軽に幅広い陶磁文化を実体験できるように努めています。

(3) 愛知県文化振興事業団

平成4年4月に県の全額出えんにより「財団法人愛知県文化振興事業団」(以下「文化振興事業団」という。)を設立しました。

文化振興事業団は、個性豊かな地域文化の振興を図り、世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与することを目的として、オペラ・コンサート・演劇公演など芸術文化センターの優れた機能を活用した専門的で高度の芸術鑑賞機会を提供するとともに、同センター外においても愛知県立芸術大学オーケストラのコンサートや県美術館の移動美術館を開催し、県内全域での芸術文化の振興を図っています。

また、文化意識の啓発事業として本県を始めとする全国の伝統芸能を紹介する「ふるさと芸能祭」を毎年芸術文化センターで実施し、伝統芸能の保存、伝承に努めています。

その他、舞台芸術鑑賞講座、舞台技術者セミナーの開催、機関紙の発行等により、芸術文化の普及啓発、人材養成にも努めています。

(4) その他の主な文化発信事業

ア 愛知県女性総合センターにおける行催事

映像文化を通じた男女共同参画社会の普及啓発事業として、「あいち国際女性映画祭」を平成8年から毎年開催しています。

イ 教育委員会が主催する文化行催事

親子による舞台芸術鑑賞の機会を提供し、地域の文化活動の発展と振興を図ることを目的に平成11年度から「親子ふれあい芸術劇場」を実施しています。また、高校生の文化芸術への関心を高め、創造性豊かな人間の育成を図るため、文化・芸術活動の発表の場である「アートフェスタ(愛知県高等学校総合文化祭)」を同年度から実施しています。

また、県内の主な民俗芸能(国、県又は市町村指定の無形民俗文化財)を公開し、その保存・伝承を図るとともに民俗芸能への理解と普及に努めるため、「民俗芸能大会」を県内各地で実施しています。

2 文化交流の促進

(1) 友好提携先との交流

本県の友好提携先であるオーストラリア・ビクトリア州及び中国・江蘇省とは、産業、文化、教育、スポーツ等様々な分野において、調査団等の相互派遣を継続的に行い、また、これを契機として、県内市町村における海外との提携、教育機関相互の交流、本県企業の進出、民間の交流等も活性化しています。

(2) 財団法人愛知県国際交流協会による国際文化交流

県民参加の国際交流の推進母体である本協会では、世界の文化紹介などを内容に含む「あいち国際プラザフェスティバル」や「国際理解親子講座」などを開催し、国際文化交流を図っています。

(3) 国民文化祭への参加奨励

全国規模の大きな文化交流の場である「国民文化祭」は各県持ち回りで毎年開催され、本県では、県民の文化活動への参加意欲に応えるため、この国民文化祭に出演する県内の文化団体等の参加に対して奨励金を支給し、

文化交流の促進に努めています。

(4) アジア太平洋地域にある総合芸術文化施設等との交流

芸術文化センター等が中心となり、アジア太平洋地域の芸術文化の発展のため、アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟⁶が平成8年に設立され、文化情報センターが窓口となり、各国の総合芸術文化施設等との交流を推進しています。

3 文化活動団体等への支援及び連携

(1) 各種文化活動団体等の活動助成及び後援の実施

文化振興ビジョンの基本方針に従い、県民の文化活動を支援するため、平成3年度に文化振興基金⁷を積み立て、この運用益の一部を充当して文化活動事業費補助制度を創設し、各種文化活動団体等の自発的な活動に対して助成や後援などを実施しています。

この制度では、国際文化交流事業、広域的芸術文化事業、後継者育成事業の区分を設け、県内で活躍している文化活動団体が行う事業に対して財政支援を行い、現在までに、延べ4,100を超える公演、展示等の芸術文化活動事業や伝統文化の後継者育成事業に対し補助金を交付しました。

(2) 顕彰事業の実施

芸術文化の各分野において新生面を開き、かつ、業績顕著で将来を嘱望される個人、団体又は学校を選奨するため、芸術文化選奨事業を継続して実施しています。

(3) 地元放送局による各種コンサートの開催支援

従来から地元放送局が中心となって、海外から招へいた舞台芸術公演のフェスティバルや質の高いコンサートなどを芸術文化センターなどで開催しており、県は、優れた文化芸術の鑑賞の機会を県民に提供し、地域文化の活性化に寄与するイベントとして積極的に財政的支援を行っています。

4 文化情報の提供

(1) 芸術文化センター（文化情報センター）の「情報」機能

文化情報センターのアートライブラリーでは、国内外の芸術文化に関する図書・資料を収集⁸し、専門図書館として閲覧・貸出を行うとともに、アートプラザでは、最新の国内外の美術・音楽・演劇等に関する多様な芸

術文化情報の収集・提供に努めています。

また、文化情報センターでは、来館者が本物の作品や実演を鑑賞するばかりでなく、情報や映像の面からも素晴らしい美術・舞台芸術等に触れ、豊かな感性を養うことができるよう、コンピュータや映像システムなどの多彩な機器を駆使した情報と映像のシステムとして「芸術文化情報システム」を導入しています。

(2) インターネットの活用

芸術文化センターのホームページでは、県内外の催事案内、美術作品、書誌情報、施設案内などの芸術文化情報を掲載し、内容の充実に努め、現在では、アクセス件数は年間400万件を超えています。

また、本県のホームページ及び携帯電話向けWebサイト「モバイルネットあいち」においても、県及び市町村等が実施する文化的行催事を取りまとめた「あいち文化イベントガイド」を掲載し、情報等の提供に努めています。

5 文化財の保存と活用

(1) 文化遺産の調査・研究

文化遺産の調査・研究のため「愛知県中世城館跡調査」、「あいちの祭り行事調査」等に取り組み、その適正な保存をめざしています。

また、この10年間に国・県指定文化財として新たに44件指定され、県内では総計995件(平成15年3月31日現在)の文化財の法的保護が図られています。

(2) 文化財の公開・展示

平成13年度以降、県美術館や陶磁資料館など県内では6つの施設が文化財の公開・展示に係る「公開承認施設」として文化庁から承認され、文化財を広く紹介する機会を増やしています。

1 県美術館における美術品等の所蔵状況(平成15年4月1日時点):

1,878点(日本画220、洋画542、立体115、版画443、素描474、工芸50、その他34)。その他、木村定三氏寄贈による174点の絵画彫刻等と170件の中国考古工芸資料等、及び愛知県文化会館から引き継いだ藤井達吉氏寄贈による1,460点の絵画・工芸品等を所蔵している。

2 ギャラリートーク:一般向けの展示説明会。

3 移動美術館:文化振興事業団と開催市町村との共催により、毎年、美術館の所蔵

作品を移動展示し、併せて講演会や鑑賞会などを実施。

- 4 複合事業：芸術文化センター内のフォーラムなどの吹き抜け空間を舞台にした映像・音楽・ダンスによる大規模なコラボレーション事業、「身体」をテーマに実演（イベント）と講演（トーク）を組み合わせた現代の芸術動向を探る「イベントーク」等。
- 5 陶磁資料館における陶磁資料の所蔵状況（平成15年4月1日時点）：
3,500点（日本陶磁2,512、外国陶磁741、その他247）
- 6 アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟：AAPPAC（Association of Asia Pacific Performing Arts Centres）アジア太平洋地域にある総合芸術文化施設等で構成される組織（9カ国1地域19センター）で、加盟する各センターが相互に情報交換し、協力して、同地域の芸術文化活動を活発化し、その発展を図ることを目的とする。日本は、新国立劇場と愛知芸術文化センターが加盟（平成15年1月現在）。
- 7 文化振興基金：県民の主体的な文化活動を尊重し、継続的かつ安定的に文化振興施策を展開していくため、平成3年に設置。基金の運用益を活用して、文化活動事業費補助金など県民の文化活動に対する支援、文化振興事業団の事業に対する補助を行う。
- 8 アートライブラリーの図書等の所蔵状況（平成15年3月末現在）：
図書（西洋美術文献を含む）73,285点、楽譜14,950点、録音資料（CD、LP）22,669点、ビデオ2,821点 合計113,725点

第2章 行動のための視点とめざす文化芸術環境

本章では、文化振興ビジョンに掲げる「文化振興の目標」を基にして、行動のための視点とめざす文化芸術環境を提示します。

1 本県における文化振興の目標

魅力ある愛知の文化の創造
生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現

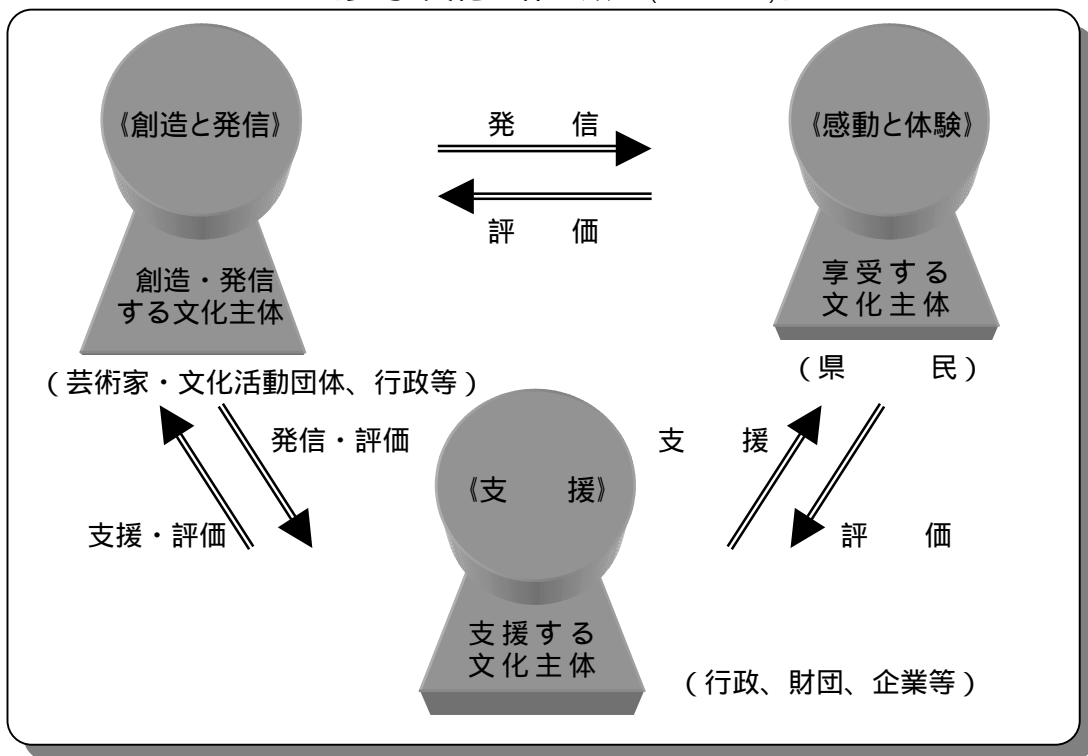
2 行動のための視点とめざす文化芸術環境

文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で、生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしを実現することは、人々の共通の願いであります。

文化芸術は、県民が生活を営む上で不可欠なものであり、県民全体の社会的財産と考えることができます。

このような考え方に着目しつつ、文化芸術の振興にあたっては、様々な文化主体を「創造・発信」、「享受（感動と体験）」及び「支援」の3つの類型に区分し、各立場からの行動のための視点を設定し、具体的な行動目標や行動メニュー（取組）を提示し、体系化します。

《参考：文化主体の類型（イメージ）》



視点1

創造と発信～世界に開かれた「あいち文化」の創造と発信の推進～

人、モノ、情報が地球規模で行き交う時代を迎え、様々な交流による異質なものとの接触が新たな知恵や活動の創出の原動力になっています。文化芸術の分野においても、世界に開かれた個性あふれる「あいち文化」の創造と発信をめざします。

県内の各地域・流域には、自然と風土に根ざした独自の歴史や文化が培われています。こうした文化資源を再認識・発掘し、継承することにより、県民一人ひとりが誇りや愛着心を抱く、文化的魅力の高い地域づくりをめざします。

視点2

感動と体験～県民誰もが、どこでも、文化芸術に自由に親しむ環境の整備～

県民誰もが、どこでも、文化芸術に自由に親しみ、感動の機会に触れることができる環境を整備し、生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現をめざします。

次代を担う子どもたちの豊かな人間性や多様な個性を育むため、子どもの文化体験機会の拡充をめざします。

文化芸術を享受するための有効な手段として、IT（情報通信技術）の活用による文化芸術情報の提供、アクセスの整備をめざします。

視点3

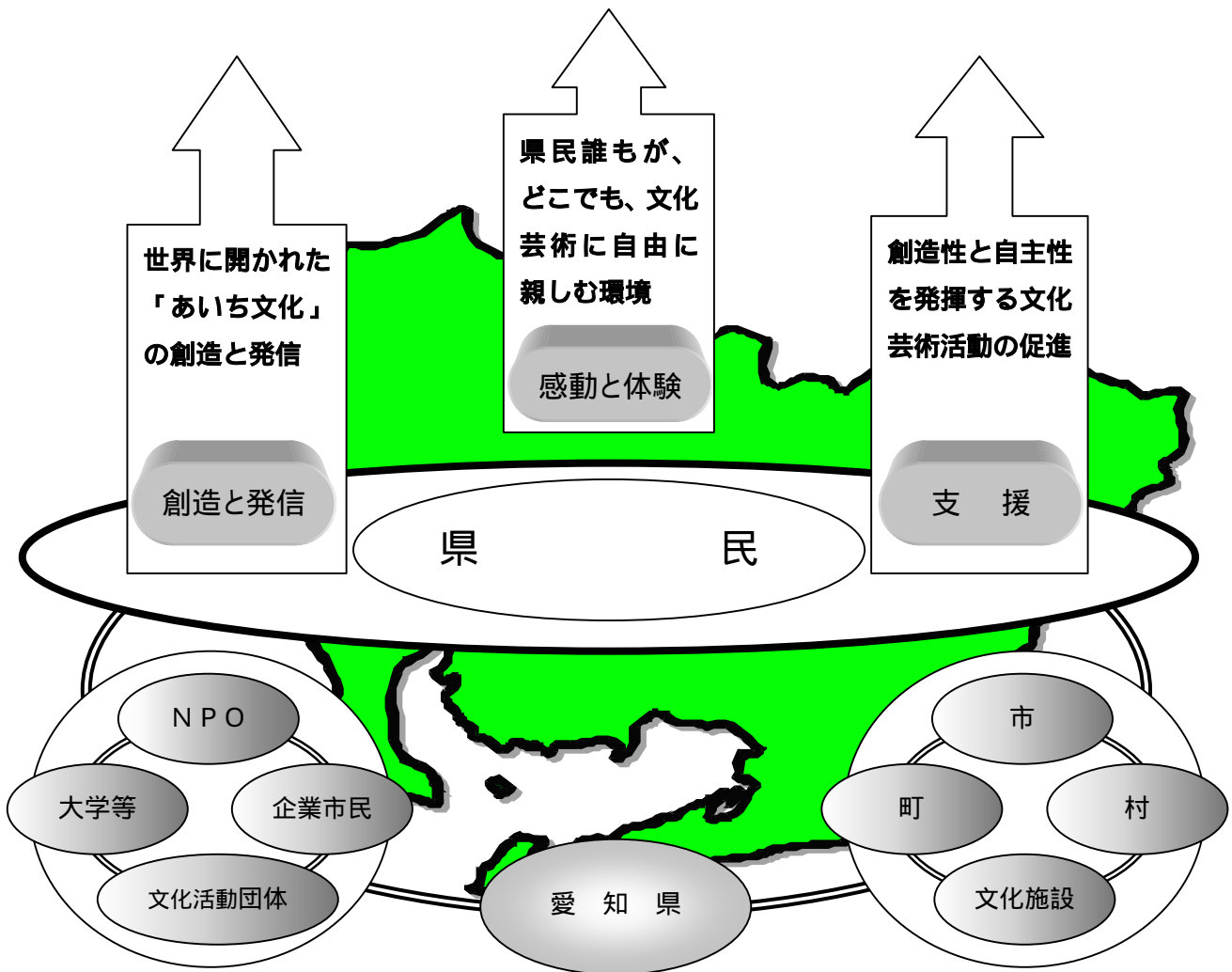
支 援～創造性と自主性を発揮する文化芸術活動の促進～

文化芸術活動を行う人々の創造性と自主性が尊重される環境の中で、活気あふれる活動が展開されるよう、各主体の文化芸術活動に対する側面的・補完的な支援を推進します。

めざす文化芸術環境

魅力ある愛知の文化の創造

生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現



(注) 行動プランで記述する「県民」とは、県内に勤務又は滞在する国内外の人々を含む。

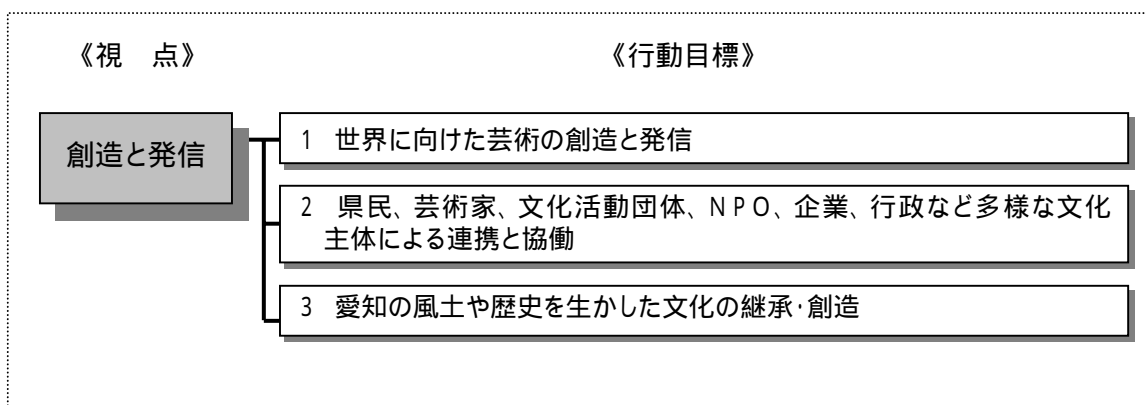
第3章 新世紀における文化芸術の振興施策の展開 ～ 行動目標と行動メニューの体系～

本章では、「創造と発信」、「感動と体験」、「支援」の行動のための3つの視点から8つの行動目標を掲げ、更に、12の行動メニュー(取組)を列挙、体系化します(43頁参照)。

行動メニューにおける重要かつ戦略的施策の展開にあたっては、平成15(2003)～16(2004)年度、平成17(2005)年度(愛・地球博開催期)、平成18(2006)～19(2007)年度の3期間に分けて明記し、計画的に事業効果を生み出すよう努めます(44～48頁)。

1 「創造と発信」の視点からの行動目標と行動メニュー

世界に開かれた個性あふれる「あいち文化」の創造と発信、及び、県民一人ひとりが誇りや愛着心を抱く、文化的魅力の高い地域づくりをめざし、その施策を展開します。



行動目標1 世界に向けた芸術の創造と発信

【課題】

- 1 人、モノ、情報等が地球規模で活発に移動する時代を迎え、文化芸術のさまざまな面で、交流による異質なものとの接触、融合あるいは自己確認が新たな活動の大きな原動力となっています。
こうしたグローバル化の進展に伴い、愛知から独創性あふれる文化芸術を創造・発信し、また、文化的魅力の高い地域づくりをめざすことが重要です。
- 2 愛・地球博の開催気運を高め、開催期に県内各地域で優れた文化が世界に向けて情報発信されるとともに、愛・地球博開催後もその文化的効果が継承されるような仕組みづくりや文化発信事業の展開が必要です。
- 3 愛・地球博開催期において、陶磁資料館は、博覧会会場に隣接する特色ある文化施設として、博覧会会場との有機的な連携を強化することが必要です。
- 4 アジアなど諸外国との文化交流の事業化については、アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟のネットワーク¹(41頁)の活用、友好提携事業の拡充等具体的な検討が必要です。

行動メニュー

あいち発の独創性あふれる文化事業の展開

愛・地球博の開催期間中、芸術文化センター、陶磁資料館等において、世界に向けての文化発信事業を積極的に展開します。

更に、万博終了後は、各文化拠点施設において独創的な文化事業の展開を一層推進します。

【施策の展開】

県美術館事業：国内外有数の美術館との連携によるテーマ性のある美術企画展の開催

万博開催期間中には、「山水と風景」をテーマにした国宝級の日本絵画の紹介・展示、アジア各国の工芸品の展示、ヨーロッパの著名な画家の作品展示など、県美術館ならではの企画展示を開催します。

万博終了後も引き続き、開館以来の活動を通して得られた国内外有数の美術館との連携に基づき、全国的に注目される質の高い企画展を開催するとともに、収蔵品の充実・確保に努めます。

文化情報センター事業：世界に向けた独創性あふれる舞台芸術フェスティバルの開催

万博開催を契機に、舞踊、音楽等のコラボレーションや外国アーティスト等との連携・協働により、独創性にあふれ、かつ、国際色豊かな舞台芸術フェスティバルを開催します。

なお、万博終了後は、フェスティバルの継続開催の検討や市町村文化施設との連携・協働型事業の着手に努めます。

陶磁資料館事業：アジアを中心とした国際性あふれる特別企画展の開催

万博開催期間中には、西洋ルネッサンスとの交流により、日本のやきもの文化が大きく発展し、飛躍した桃山陶の華麗な世界をテーマとした特別企画展を開催します。

万博終了後は、中国、韓国を始めとするアジアの陶磁器等を企画展示し、陶磁文化を通しての国際的な文化交流を推進します。

文化振興事業団主催事業：質の高いオペラ、クラシックコンサート、演劇等の舞台芸術の開催

万博開催の直前や開催期間中には、芸文センター各ホールの特徴を活かした優れた舞台芸術公演として、事業団が新たに創り上げるオペラ、当地域にゆかりのある著名な演奏家などが繰り広げる祝祭コンサート、NHK交響楽団の演奏会、県内外で活躍する劇団による演劇フェスティバルなど、多彩に展開します。

万博終了後も引き続き、一流のオペラ、クラシックコンサート、演劇などの舞台芸術公演を継続し、人材育成も視野に入れた事業を展開します。

あいち女性総合センター主催事業：「あいち国際女性映画祭」の開催

中部圏唯一の国際映画祭として、女性の生き方などを描いた女性監督作品を中心に上映し、県民の映像文化に親しむ機会を拡充します。また、著名な女性監督等を招待し、トークや講演会などを通じて、参加者との交流の場づくりに努めます。

行動メニュー

文化芸術交流の国際化

友好提携制度に基づく交流派遣団の派遣やアジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟のネットワークの活用などにより、世界に向け愛知の文化を一層発信し、文化芸術交流の国際化を推進します。

【施策の展開】

友好提携制度に基づく交流派遣団の活用による情報発信

本県では、オーストラリア・ビクトリア州及び中国・江蘇省と友好提携を締結しており、相互に調査団を派遣し交流を行っています。この交流活動を活用し、愛知の文化情報の発信と文化交流の促進を図ります。

文化活動事業費補助制度の活用による国際文化交流の促進

県内において、外国の文化活動団体と共同で行う文化事業および、海外で行われる文化事業で、開催国の公的機関またはそれに準ずる文化団体の招へいを受けて参加する文化事業を促進します。

アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟のネットワークの活用

アジア太平洋地域にある総合芸術文化施設等で構成される「アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟」のネットワークを活用して情報発信基盤の充実を図り、また、舞台芸術を中心とした事業交流を検討します。

行動目標2 県民、芸術家、文化活動団体、NPO、企業、行政など多様な文化
主体による連携と協働

【課題】

1 多様な文化主体による連携と協働

個性あふれる「あいち文化」の創造と発信を発展的に持続させ、県民の文化芸術に関する鑑賞、参加及び創造の機会を拡充するためには、「創造と発信」・「感動と機会」・「支援」の3種類の文化主体の連携と協働により、人的交流を盛んにし、相互理解、文化芸術情報や事業ノウハウ等の交換・共有・蓄積、新たな事業企画の創出などを促すことが重要です。

2 県及び市町村の文化施設の連携と協働

(1) 芸術文化センターは、中枢的文化施設として、事業・情報・交流機能を発揮し、県内公立文化施設が担う地域固有の文化芸術の創造・発信に対する支援または連携・協働することにより、県域全体の文化芸術の振興に貢献することが求められています。

(2) 陶磁資料館は、陶磁文化を発信する中核的な文化施設として、関連周辺博物館との有機的な連携・相互補完が求められています。

行動メニュー

さまざまな文化主体との連携と協働

ア 文化政策を担うパートナーとして、多様な民間主体との連携・協働と文化情報の相互発信をめざします。

更に、さまざまな文化主体が参加する「開かれたコミュニケーションの場」づくりを応援します。

また、県内の芸術・情報系大学との連携の仕組みづくりを推進します。

【施策の展開】

さまざまな文化主体との連携・協働

- ・ 芸術家、文化活動団体
文化芸術の振興施策を効果的に実施するため、県内にゆかりのある芸術家、「愛知芸術文化協会(A N E T)」 2(41頁)に代表される包括的文化活動団体を始めとする各種団体等の専門家から意見・提言を聴取し、協議・調整し、また、文化政策を担うパートナーとして一層の連携を図ります。
- ・ N P O、ボランティアグループ
地域に根ざした文化芸術の振興において、N P O 3(41頁)、ボランティアグループなど多様な文化主体との連携・協働に努めます。
- ・ 民間企業
企業メセナ 4(41頁)活動は、寄附金などの財政的支援のほかに、「企業市民」として地域住民、各種文化活動団体等との連携・協働にも力点を置いています。文化政策を担うパートナーとして、企業メセナ関係者との連携を強化します。
- ・ 市町村
地域文化を振興するためには、住民に身近な自治体である市町村が支援の担い手となることが重要です。県と市町村は、対等な関係で自主的な連携や協働のあり方を具体的に検討し、仕組みを形成し、県域全体の文化芸術の振興を図ります。

第2回世界劇場会議の開催

現代の舞台芸術活動をめぐる諸問題及びこれからの劇場のあり方、地域文化の振興との関わり等について、行政と民間のあらゆる関係者が一体となって討議する国際会議を開催します。

芸術文化活動助成制度に関する情報の提供

国や団体等の各種芸術文化活動助成制度について、市町村等を通じて積極的に情報を提供します。

新たな連携・協働の場(プラットフォーム)づくりの促進

さまざまな文化主体の連携・協働の場づくりを調査研究し、また、自主的な運営組織であるプラットフォームづくりを応援します。

参照：「文化芸術プラットフォーム」 24頁

芸術・情報系大学等からのインターンシップ(学生の就業体験)の受入れ

芸術・情報系大学等の学生の新鮮な意見を聞くことにより、文化芸術に関する業務への取組方法等の認識を新たにし、職場の活性化に努めます。また、文化芸術に携わる人材育成の一翼を担っていきます。

イ 県・市町村の文化行政ネットワークをより活性化させ、市町村が自主的に設置・運営する研究会等の発足を促すとともに、愛知県公立文化施設協議会 5(41頁)や愛知県博物館協会 6(41頁)との連携を密にし、県域全体の文化芸術の振興を図ります。また、県・市町村職員を対象としたアート・マネジメント(文化芸術の振興に係る企画・管理)に関する情報提供や研修機会の充実に努めます。

【施策の展開】

市町村文化行政ネットワーク会議の開催

文化行政における県と市町村、市町村相互間の連携を図り、地域の特色ある文化の振興等について共同研究及び情報交換を行います。

近隣市町村で構成する市町村文化行政研究会の発足

地域特性に応じた文化の創造と発信を盛んにし、また、近隣市町村間の連携・協働事業を推進するため、自主運営組織である市町村文化行政研究会の発足を促進します。

アート・マネジメント（文化芸術の振興に係る企画・管理）に関する情報提供や研修機会の充実

市町村文化行政ネットワーク会議や県・市町村の職員研修等において、アート・マネジメントの普及に努めるとともに、文化庁、企業、大学等が開催するアート・マネジメント講座の案内や情報を提供します。

芸術文化活動助成制度に関する情報の提供（再掲）

ウ 芸術文化センター及び陶磁資料館は、県内の公立文化施設（文化ホール・博物館等）と連携し、公立文化施設における文化発信事業の側面的支援に努めます。

また、アウトリーチ活動（館外活動）の一環として、公立文化施設との連携による地域に向けた文化発信事業を推進し、文化芸術に気軽に触れ、参加できる環境整備に努めます。

【施策の展開】

愛知県公立文化施設協議会や愛知県博物館協会との連携

愛知県公立文化施設協議会や愛知県博物館協会のネットワークを活用した各文化施設との有機的な連携・相互補完の体制づくりをめざします。

移動美術館の開催

文化振興事業団、県美術館及び開催地市町村の共催により、県美術館の所蔵作品に気軽に親しんでもらう機会を提供します。

愛知県立芸術大学オーケストラ演奏会の開催

文化振興事業団、県立芸術大学及び開催地市町村の共催により、県内各地域の方々へ、オーケストラ演奏の鑑賞機会を提供します。

参 考

「文化芸術プラットフォーム」

文化芸術の振興を図るためには、文化の主体である県民を始め、芸術家、各種文化活動団体、NPO、企業及び行政（県・市町村）の連携・協働が必要です。

そのための手段・仕組みの一つとして、様々な主体が結集・連携した「文化芸術プラットフォーム」づくりが提唱されています。

文化芸術プラットフォームとは

文化芸術を創造・提供する者（芸術家、文化活動団体等）、享受する者（県民）、支援する者（行政、企業等）、ボランティア関係者（NPO、文化ボランティア等）が、対等な立場で、情報交換や事業連携の調整・協議などを行う「開かれたコミュニケーションの場」をいいます。

文化芸術プラットフォームの特長

- ・ 文化芸術に関わるさまざまな主体が自由に参加できる場を創出することができます。
- ・ 自主運営体制により、情報の共有・蓄積・開示、連携・協働事業の創出、人材交流などを展開することができます。
- ・ 公共性・公益性を有する場づくりができます。

期待される効果(例)

- ・ 文化芸術を供給する芸術家・文化活動団体と享受する観客（県民）との交流や相互理解の促進
- ・ 「舞台芸術フェスティバル」（前掲）の自主参加事業部門への事業参加又は自主参加事業の企画・運営に関する協議、調整
- ・ 学校関係者と芸術家の情報交換による、芸術家の学校派遣など子どもの文化体験機会の充実
- ・ さまざまな文化主体からの本県文化行政に関する幅広いニーズの把握
- ・ 県民ニーズを反映した政策協議の機会の創出

行動目標3 愛知の風土や歴史を生かした文化の継承・創造

【課題】

- 1 愛知の地場産業(陶磁、石工等各種工芸)との調和をめざす文化の継承・創造とその動機づけとなるイベントの開催が必要です。
- 2 「メディア芸術」 7(41頁)は、芸術文化全体の活性化を促す牽引力として、また、情報通信の産業分野と密接な関係にあるものとして、大いに期待されています。本県においても、こうした新たな潮流の中、メディア芸術の振興を図ることが必要です。
- 3 郷土の自然、歴史、祭りや行催事など地域文化資源を再認識し、発掘するとともに、これらを記録・保存することにより県民共有の財産として後世に残すことは、地域アイデンティティの向上に不可欠です。
- 4 文化財の保存・活用のため、今後とも、文化財の公開・展示等を通して県民の文化財に対する愛護精神の啓発を図っていくことが必要です。

行動メニュー

産業との調和をめざした文化事業の振興

県内には、全国的に屈指の陶磁産業を擁することから、陶磁資料館と周辺博物館との連携の下で、産業陶磁に関する文化発信に努めます。また、モノづくり愛知の特性に応じたメディア芸術の振興に努めます。

【施策の展開】

陶磁資料館における産業陶磁関連の展示事業の推進

陶磁資料館南館では、産業陶磁資料の展示を中心としており、陶磁産業の現況を紹介する常設展示を実施します。

県内外の主要窯業地との連携・協働による事業企画

県内外の主要窯業地(瀬戸、常滑、美濃、信楽、越前他)と連携・協働した企画展を開催し、日本の代表的な陶磁、窯業地等を紹介します。

日本伝統工芸展名古屋展の開催

優れた伝統工芸作品を広く一般の鑑賞に供するとともに、この地域の伝統工芸に対する理解と認識を深め、より一層の発展を図るために開催します。

愛知県デザインセンターにおけるデザイン企画展示と情報提供

地場産業のデザイン開発成果や、ユニバーサルデザインなどをテーマとする企画展を開催します。また優秀デザイン商品や内外のデザイン資料を収集するとともに、デザイン講座を開催して産業デザインの情報提供に努めます。

世界グラフィックデザイン会議・名古屋の開催

平成15年10月開催のこの世界会議は、この地域のグラフィックデザインの向上はもとより、愛・地球博のイベントとして、世界へ向けた情報発信や国際交流の場を提供する機会となります。

「和紙のふるさと」の運営

地域に古くから根ざす“和紙づくり”文化を観光資源として活用し、体験型の観光施設として県内外からの観光客誘致を図ります。また、地元の和紙工芸作家等の協力を得て、企画特別展を開催するなど、施設の魅力アップに努めます。

メディア芸術の先進的取組についての調査研究

メディア芸術の振興に関する先進自治体、有識者、大学・研究機関、関連企業等との情報交換やメディア芸術の先進的取組について調査研究を行います。

実験映像による文化発信事業の実施

文化情報センターにおいて、実験映像による文化発信事業を継続的に実施します。

ニューメディアに舞踊や音楽を取り入れた自主企画事業の推進

文化情報センターにおいて、映像や新たなメディアに舞踊や音楽を取り入れた文化発信事業の取組に努めます。

行動メニュー

文化資源の保存・継承と地域の文化的魅力の向上

ア 地域の文化的な魅力向上を図るため、地域住民やNPO等による地域の文化資源に対する再認識・発掘や、その資源の積極的活用に関する活動を促進します。

【施策の展開】

地域文化資源のデジタル化・データベース化の推進及び情報発信

県内の自然環境や歴史、文化、人物等の地域資源を発掘して、地域住民が地域づくり活動などに活用しやすいようにデジタル・アーカイブ化を行い、県ホームページを通じて情報発信していきます。

ふるさと芸能祭の開催

それぞれの地域に根づいているさまざまな伝統芸能を紹介することにより、それらが保存・伝承されていくよう、「ふるさと芸能祭」の継続実施に努めます。

民俗芸能大会の開催

多くの人々が文化財に接することができるよう、国・県・市町村指定の無形民俗文化財の保存会が出演する「愛知県民俗芸能大会」を開催します。

イ 県民のふるさと愛知に対する理解を深め、本県の学術及び文化の振興を図るため、地域の文化資源を記録・保存し、愛知県史として編さん・刊行します。

【施策の展開】

愛知県史編さん事業の推進

ウ 地域に伝わる伝統芸能やお祭り、歴史的な建造物や史跡等、地域が主体的、積極的にその保存・活用に取り組むことができるよう、支援します。

【施策の展開】

伝統芸能、祭り、歴史的建造物、史跡等の保存・活用のための地域の主体的、積極的な取組に対する支援

文化財の指定、保存・活用の推進

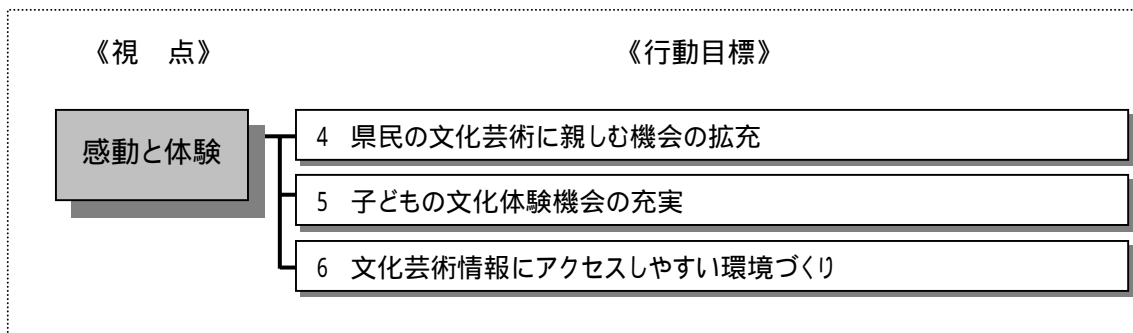
歴史上、学術上価値の高い文化財を保存するため、県内の文化財の状況を調査し、指定を進めています。また、文化財の保存・伝承を図るため、ビデオ映像による記録制作等を実施します。

埋蔵文化財の活用・保護思想の普及

現状保存が困難な埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録・保存します。出土品は、資料館等で展示し、歴史理解に役立てます。

2 「感動と体験」の視点からの行動目標と行動メニュー

県民誰もが文化芸術に自由に親しみ、鑑賞できる環境を整備し、生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現をめざし、その施策を展開します。



行動目標4 県民の文化芸術に親しむ機会の拡充

【課 題】

- 1 すべての人がゆとりと潤いある心豊かな生活を送るためには、身近なところで日常的に文化芸術に触れ、気軽に参加でき、創造できる環境づくりが重要です。
- 2 高齢者、障害者、乳幼児を持つ親たちなどが、参加、鑑賞しやすいよう公演、展示等で配慮がなされるとともに、施設面においても円滑な利用が図られるよう整備をすることが必要です。
- 3 地域における国際化が今後一層進むことが見込まれる中、外国人が等しく文化芸術を享受する機会が持てるよう環境整備を進めることが必要です。
- 4 ボランティアグループが各地域で発足し、文化拠点施設の運営を支えるなど新たな文化の担い手として活動しています。市町村との連携の下、ボランティアグループの支援に取り組むことが重要です。

行動メニュー

県民の文化芸術体験と鑑賞機会の拡充

さまざまな人々が、気軽に参加、鑑賞できるよう公演、展示等に配慮するとともに、施設においても文化芸術を鑑賞し、参加し、創造しやすい環境の整備を促進します。

高齢者、障害者、乳幼児を持つ親たちなどの文化芸術活動を支援する団体等の取組を促進します。

また、外国人が等しく文化芸術を享受する機会が持てるよう、多言語での文化情報の提供に努めるとともに、展示、施設等においても外国人に配慮した環境整備を進め、愛・地球博開催期間中は、県文化施設においても受入体制を強化します。

【施策の展開】

文化講演会の開催

各界の第一線で活躍する講師による講演会を開催し、広く県民がさまざまな角度から文化について考える機会を提供します。

文化芸術団体等連携事業の展開：

・第5回世界バレエ・モダンダンスコンクールの開催

バレエとモダンダンスの2部門のコンクールを同時に開催する特徴を有するとともに、受賞者のその後の活躍により、世界舞踊界における新たな登龍門として定着しつつある「世界バレエ・モダンダンスコンクール」の第5回大会を開催（共催）します。

・クラシックコンサートシリーズ等の開催

地元民放テレビ局各社による質の高いシリーズコンサート等の開催を支援し、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。

名古屋フィルハーモニー交響楽団等の演奏事業の推進

名フィルは、本県を中心に活躍している中部を代表するプロオーケストラであり、質の高い演奏は県民の音楽文化の振興に寄与しています。名フィルの生演奏を多くの県民が鑑賞できるよう、演奏活動を支援します。また、他団体の演奏事業に対しても支援に努めます。

県内美術館への運営助言

県民が、名古屋ボストン美術館を始め県内美術館において、優れたコレクションに触れる機会を充実するため、美術館相互の連携を深め、情報交換等を通じて助言や指導を行います。

視覚障害者等の美術鑑賞プログラムの充実

県美術館において視覚障害者が気軽に美術鑑賞できるプログラムの充実及び継続的な実施に努めます。

高齢者等の文化芸術活動を支援するNPO等の実態把握と活動の促進

高齢者、障害者、乳幼児を持つ親たちなどが等しく文化芸術を鑑賞、参加、創造できるように配慮した活動を行うNPO等の実態調査を行い、その活動を促進します。

公演・展示事業での託児室や親子室（席）の確保、手話解説の推進

高齢者、障害者、乳幼児をもつ親たちなどが、気軽に参加、鑑賞できるよう、託児室や親子席の設置、手話解説など、公演、展示等で利用者への配慮を推進します。

愛知県国際交流協会等との連携による多言語での文化情報の提供

外国人が等しく文化芸術を享受する機会がもてるよう、愛知県国際交流協会等との連携・協力のもと、文化情報の多言語化、内容の充実に努めます。

外国人に配慮した展示環境や公共サインの整備

外国人にも分かりやすいよう多言語またはひらがな表記などによる解説を充実するとともに、案内板や標識等の外国語表記や絵文字（ピクトグラム）の導入等、展示、施設においても外国人に配慮した環境整備を進めます。

通訳や外国人サポート等ボランティア活動の促進

外国人が等しく文化芸術を享受する機会がもてるよう、通訳やサポート等のボランティア活動を行っているNPO等を支援し、その活動の促進に努めます。

行動メニュー

文化ボランティア活動の推進

県民の文化芸術活動への参画に資する文化ボランティア活動を促進するため、県内ボランティアグループの活動実態を把握し、情報収集・提供に努め、育成・促進します。

【施策の展開】

文化ボランティアグループに関する情報収集・提供

県内文化ボランティアの活動事例をとりまとめ、市町村を通して情報を提供します。

文化ボランティアの相互交流、研修などの機会の提供

文化ボランティアやコーディネーターの資質向上を図るための研修を開催するとともに、ボランティア間のネットワーク化を推進します。

県美術館：視覚に障害のある方への美術鑑賞ボランティア団体等との連携

県美術館において視覚障害者への美術鑑賞ボランティア団体などの支援・連携に努めます。

文化情報センター：ボランティア・スタッフの育成

ボランティア・スタッフを育成し、自主事業の運営等に参画する機会の提供に努めます。

県図書館：朗読協力員の養成と連携

県図書館が主催する朗読協力員研修講座の受講者から選考し、登録された協力員(登録期間は3年)により、視覚障害者資料室において、対面朗読サービスや録音図書の作成を引き続き実施します。

陶磁資料館：解説ボランティアの活動の促進、外国語による解説要員の養成

陶磁資料館において解説ボランティアや外国語による解説ボランティアの養成、支援を強化します。

参 考

文化ボランティア

文化ボランティアとは

「文化ボランティア」についての明確な定義はありませんが、「文化芸術に自ら親しむとともに、他の人が親しむのに役立ったり、お手伝いするようなボランティア活動」(文化庁「ボランティア通信」(第2号)平成14年3月)という捉え方をしています。

県内の文化ボランティア・グループの活動例

図書館における活動例

絵本の読み聞かせ、紙芝居、人形劇、ストーリーテリング、手遊び、手作り絵本の製作、対面朗読、録音図書作成、日常業務およびイベントの支援

文化施設における活動例

「パティオ・ウェーブ」(知立市)

- ・プロの公演のアシスタント
- ・市民参加事業の企画制作
- ・パティオ池鯉鮒文化情報誌「Patio」取材、編集

「長久手文化の家フレンズ」(長久手町)

- ・文化の家自主公演時のフロントマネジメント
- ・鑑賞、交流事業の企画、実施
- ・機関誌、公演カレンダーの発行

「ふそう文化夢応援団」(扶桑町)

- ・扶桑文化会館での自主、共催事業公演の際のチケットもぎり、会場案内、駐車場案内
- ・ふそう文化夢応援団自主事業の企画、実施

文化施設、観光名所などにおけるガイド活動例

展示資料の解説・案内、実演、史跡・文化財等のボランティアガイド

伝統工芸・文化の伝承、保存のための活動例

各種イベントの実施、研究・発信、展示会の開催

自主事業の開催例

ロビーコンサート、演劇鑑賞会、音楽鑑賞会など

行動目標5 子どもの文化体験機会の充実

【課題】

子どもたちの豊かな人間性や多様な個性を育むために、子どもたちが文化芸術に触れ、また、文化芸術活動に気軽に参加できる機会を提供することが重要です。

行動メニュー

子どもの文化体験機会の充実

ア 子どもたちが学校や市町村の文化ホールなどにおいて、優れた舞台芸術や伝統芸能に直に触れ、創造活動に参加する機会を提供できる文化事業の充実に努めます。

【施策の展開】

優れた舞台芸術の鑑賞、体験活動の推進

優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術文化団体等による実技指導・ワークショップや、これらの団体等との共演に参加し、本物の舞台芸術に身近に触れる機会を提供します。

日本伝統工芸展名古屋展こども鑑賞事業の開催

学校を訪問しての実演、ワークショップ、展覧会場における作品解説など、子どもたちが伝統工芸に親しむ機会を提供します。

親子ふれあい芸術劇場の開催

伝統芸能、演劇、室内楽など、優れた舞台芸術を親子で鑑賞できる「親子ふれあい芸術劇場」を開催し、舞台芸術への理解と親子のふれあいの心を醸成する機会を提供します。

中高校生を対象としたオペラ鑑賞機会の提供

文化振興事業団では、若い世代の方々にオペラの魅力を知ってもらうために、中高校生を対象にオペラ鑑賞の機会を提供します。

イ 優れた芸術活動を行っている芸術家や実演団体、伝統芸能の保持者等を学校等へ派遣し、優れた技の披露や文化活動のすばらしさ、地域の誇りなどについての講話を通して、子どもたちの芸術への関心が高まるよう努めます。

また、小・中・高校及び盲・聾・養護学校の「総合的な学習の時間」(各学校の創意工夫により、児童・生徒・地域・学校の実情に応じて横断的・総合的な教育活動が行える時間)を活用し、文化芸術に関する教育の充実を図るとともに、指導者の養成に努めます。

【施策の展開】

芸術家、実演団体、伝統芸能保持者等の学校派遣

優れた活動を行っている芸術家や伝統芸能の保持者等をその出身地域の学校へ派遣し、体育館等で講演や実技披露等を行います。

文化部活動の指導教員の育成

学校の文化部活動の指導を行う担当教員に対して、講演・実技指導を行い、指導者の育成に努めます。

公立文化施設における「総合的な学習の時間」への支援・協力

小・中・高校、聾・養護学校の「総合的な学習の時間」における公立文化施設を活用した文化芸術に関する教育に対して、積極的に支援・協力していきます。

「総合的な学習の時間」に向けての芸術家派遣体制の検討、実施

「総合的な学習の時間」を利用して文化芸術を体験できるよう、地元の芸術家を学校に派遣するシステム作りを検討し、実施していきます。

「アートフェスタ(愛知県高等学校総合文化祭)」への参加奨励

高校生の文化活動の発表の場(舞台発表・展示発表)を提供し、レベル向上と生徒相互の交流を進めます。

知事部局と教育委員会の連絡調整会議の設置・運営

子どもたちが学校や地域において、身近に文化芸術に触れることができるよう、その機会の提供・確保に一層努めるとともに、知事部局と教育委員会の定常的な情報交換や連絡調整の場を設定します。

行動目標6 文化芸術情報にアクセスしやすい環境づくり

【課題】

- 1 芸術文化センターが芸術文化の拠点として、共同制作や舞台技術者の交流といった海外との芸術文化の交流を活発化していくためには、同センターの機能の一つである文化芸術に関する情報機能を一層充実していくことが必要となっています。
- 2 県美術館、陶磁資料館の収蔵品について、著作権等に配慮しながら、デジタル化・データベース化を進め、県民が必要に応じて活用できるようホームページの情報内容の拡充を図っていくことが必要です。
- 3 県内市町村主催の文化芸術事業に関するインターネットによる情報提供事業である「あいち文化イベントガイド」について、情報内容の充実、リアルタイム処理による最新情報の提供、情報アクセスや検索の利便性の向上等を図ることが求められています。
- 4 今後は、IT化時代にふさわしい情報収集・提供システムを整備し、情報メディア機能の強化を一層図るとともに、関連施設等との情報ネットワーク化を図ることが必要です。

行動メニュー

文化芸術情報の提供の推進

ア 芸術文化センターの情報機能の充実を図り、国内はもとより世界の文化芸術の最新情報を提供していきます。

【施策の展開】

アトライブラリー・アートプラザからの情報提供の推進

芸術文化センターでは、美術館と劇場を有する施設の性格に合わせて、美術、音楽、演劇、舞踊を中心に国内外の多様な文化芸術情報を収集し、それを多彩なメディアを駆使して提供していきます。

文化芸術に関する情報誌の発行

芸術文化センターが発行する広報誌「AAC」及び文化振興事業団が発行する機関紙「muse」の内容の一層の充実に努めます。

イ 県美術館及び陶磁資料館の収蔵品に関するデジタル化・データベース化を計画的に推進します。

特に、愛・地球博会場に隣接する陶磁資料館は、会期中、愛知県が世界に誇る陶芸文化の魅力を発信するため、新時代の陶磁資料館（デジタルミュージアム）に向けての整備に努めます。

【施策の展開】

県美術館、陶磁資料館の所蔵品情報に関するホームページ掲載内容の充実

ウ 文化芸術に関するホームページの情報内容の充実を図るとともに、県・市町村一体となった文化芸術に関する最新情報を提供できるシステムや県内で活躍している各種文化活動団体の活動概要等が容易に検索できるシステムのあり方について検討します。

また、県内に所在する民俗文化財等を広く県民に紹介するとともに、その記録データをデジタル化し、「学びネットあいち」（県教育委員会所管）の学習コンテンツを充実します。

【施策の展開】

文化芸術系のホームページの情報内容の体系化と充実

高いアクセス件数を誇る芸術文化センターのホームページを、より身近で親しみやすいものとするため、一層の内容の充実を図ります。

Webサイトでの文化芸術情報（「あいち文化イベントガイド」）の提供、充実

県内の文化的行催事の情報（日時・場所・料金・内容等）を収集し、インターネットによる情報提供の充実を図ります。

県図書館：「愛知県内図書館横断検索システム」の充実

平成15年1月から市町村図書館の蔵書が、書名・著者名・出版社名により横断検索できるシステムが稼働しました。現在、県内24の市町村図書館がシステムに接続しており、今後も残りの県内30余りの図書館設置市町村に、システムへの参加を働きかけていきます。

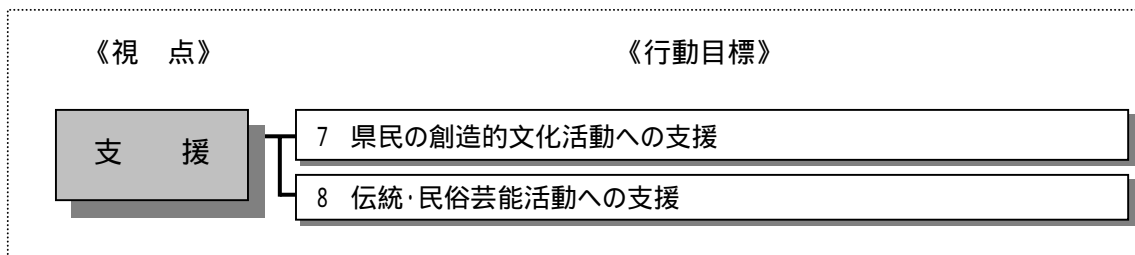
文化芸術系ホームページのポータルサイト（情報窓口）創設の調査研究

県や市町村が有する文化芸術に関する最新情報や県内で活躍している各種文化活動団体の活動概要等が容易に検索できるよう文化芸術系ホームページのポータルサイト（情報窓口）の創設に向けた調査研究を進めます。

「学びネットあいち」による学習コンテンツの整備

3 「支援」の視点からの行動目標と行動メニュー

各種の文化芸術活動の主体が創造性と自主性が尊重される環境の中で、活気あふれる活動ができる諸条件の整備をめざし、その施策を展開します。



行動目標7 県民の創造的文化活動への支援

【課 題】

- 1 県内で活躍する文化活動団体に対する活動事業費補助を引き続き実施しながら、文化発信性又は新規性の高い事業に対する支援等に配慮する必要があります。

また、国の制度を利用した海外留学や国内研修への支援に努め、若手芸術家の活動機会の提供に関する調査研究を行う必要があります。

- 2 県域全体のバランスのとれた文化芸術の振興を展開するために、広域的な文化発信に対する支援のあり方を検討することが必要です。

行動メニュー

県民の文化芸術活動への支援

ア 県民の主体的な文化芸術活動に対し、さまざまな側面から支援を行います。

また、文化活動事業費補助の継続実施に当たり、創造的な文化づくりをめざすため、文化発信性の高い事業や新規又は先駆的事业の促進を図り、現行の補助制度のあり方の見直しも含め、効率的運用に努めます。

【施策の展開】

文化活動事業費補助制度を活用した県民の文化活動の支援

県内に活動の拠点を置く文化活動団体が行う外国の文化活動団体との合同公演、広域的に実施される文化芸術活動など、県民の自主的・自発的な各種文化活動を支援します。

国民文化祭への参加奨励

国民体育大会（国体）の「文化版」で全国規模の文化の祭典である国民文化祭の出演団体（者）に対し、奨励金を支給することにより、県民の文化活動及び文化交流を促進します。

企業メセナ協議会「助成認定制度」の活用促進

芸術家や芸術団体の活動を支援するため、企業や個人の寄付を促進する企業メセナ協議会の「助成認定制度」について、相談窓口が文化振興事業団に委嘱されており、その積極的活用を周知します。

- イ 国の制度を利用した海外留学や国内研修への支援に努め、また、若手芸術家の活動機会・場の提供に関する調査研究を行います。

【施策の展開】

海外留学や国内研修への支援の情報提供

国が実施する新進芸術家の海外留学や国内研修への支援事業の周知に努め、希望者を推薦します。

若手芸術家を対象とした活動の機会・場の提供に関する調査研究

- ウ 顕彰事業

【施策の展開】

愛知県芸術文化選奨事業の実施

芸術文化の各分野で新生面をひらき、かつ、業績顕著で将来を嘱望される個人、団体又は学校に芸術文化選奨文化賞又は文化奨励賞を贈り、その芸術文化活動の定着を図るとともに、広く県民の芸術文化活動の奨励と振興に努めます。

行動メニュー

市町村、地域住民等の連携による文化事業の促進

広域的視野に立った文化発信事業（複数の自治体及び地域住民等で構成する実行委員会などが企画・運営する創造型文化発信事業）の創設、事業展開、広報手段等に関する支援システムづくりをめざします。

【施策の展開】

公立文化施設等における自主企画事業の統一広報

愛・地球博開催期における県内公立文化ホールや博物館のイベントスケジュールを集大成したチラシの作成・配布を実施します。

愛・地球博地域連携プロジェクト支援事業の推進

県内の市町村と住民等とが連携・協働して行う、愛・地球博に関する事業や催事を財政支援などにより推進し、愛・地球博の開催気運を盛り上げるとともに、これを契機とした地域文化の発信などにより、地域の振興・発展を図ります。

住民、市町村等による広域連携型文化発信事業への支援

愛・地球博の開催を契機に、地域住民、文化活動団体、NPOや複数の市町村で構成する実行委員会が主催する広域連携型の文化事業に関する相談・支援体制づくりに努めます。

行動目標8 伝統・民俗芸能活動への支援

【課題】

地域に根づいた伝統・民俗芸能活動の継承・保存や地域の文化資源を生かした個性豊かな文化の発展を支援することが重要です。

行動メニュー

伝統・民俗芸能活動への支援

各地域に根づいた伝統・民俗芸能の発展と後世への継承のため、広域的な連携づくりを支援し、文化交流や後継者育成などを促進するとともに、活動・発表の「場」の提供に努めます。

【施策の展開】

愛・地球博における伝統芸能等の催事開催

2005年に開催される愛・地球博の青少年公園会場内(県パビリオン、小催事場等)において、地域の伝統芸能等の催事を開催する場を提供します。

伝統・民俗芸能活動団体の交流の促進

流域(水系)等を考慮した伝統・民俗芸能活動団体の交流や広域連携を促進します。

伝統・民俗芸能活動の後継者育成の促進

市町村との連携の下、伝統・民俗芸能活動の後継者育成を促進します。

文化活動事業費補助制度を活用した伝統・民俗芸能の後継者育成活動への支援

古くから伝承し、愛知の文化の特色となっている指定文化財もしくはそれに準ずるものを、保存伝承するために後継者を育成しようとする活動に対して支援を行います。

市町村振興事業費補助金の運用

地域の文化資源(無形民俗文化財等)を生かした個性豊かな文化の振興のための事業に、自主的に取り組む市町村又は地域住民で構成する団体に対して、財政的支援を行います。

ふるさと芸能祭の開催(再掲)

民俗芸能大会の開催(再掲)

-
- 1 ネットワーク：行動プランでは、一定の文化主体間での情報の受発信、人的交流、事業間交流など、さまざまな形で柔軟に結びついた関係をいう。
 - 2 愛知芸術文化協会：県内で活躍するさまざまなジャンルの芸術家や芸術文化団体により平成4年7月に結成され、会員相互の交流や提携、芸術文化情報誌の発行、芸術文化振興のための諸活動、税制・法制に関する研究、行政に対する芸術文化施策の提言などを精力的に展開している。構成員：83 団体・個人 334 名（平成15年4月15日現在）
 また、本県と友好提携の関係にある中国江蘇省との国際交流事業、芸術文化の専門家を学校教育・生涯学習の場へ紹介・派遣するアーティストバンク（さまざまな分野で活躍する芸術文化の専門家(愛知芸術文化協会加盟員)を登録したリストに基づき、学校教育・生涯学習の場へ紹介・派遣する制度であり、各種研修、講座、文化体験プログラムの提供等を実施。）の設立・運営など、多方面にわたり本県の文化振興に寄与している。
 - 3 NPO (non-profit organization)：同じ非営利である政府機関と区別して「民間非営利組織」と表現されることが多い。営利を目的とせず（利益を配分しないこと）行政機関から独立性を保ちながら、自発的に公益活動を行う団体（組織）をNPOと呼んでいる。
 なお、NPO法人（特定非営利活動法人）とは、非営利活動を行う団体が、いわゆるNPO法（特定非営利活動促進法）によって認証され法人格を取得したもの。保健・医療・福祉、文化・芸術・スポーツなど17分野の特定非営利活動を行う。
 - 4 メセナ：企業が演劇やコンサートなどの芸術文化活動に対し、資金や労力・場所・物資などを提供して支援すること。
 - 5 愛知県公立文化施設協議会：
 加入施設（平成15年4月現在） 59 館（うち県立6 館）
 - 6 愛知県博物館協会：加入施設（平成15年4月現在）131 館
 - 7 メディア芸術：映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術を総称している。

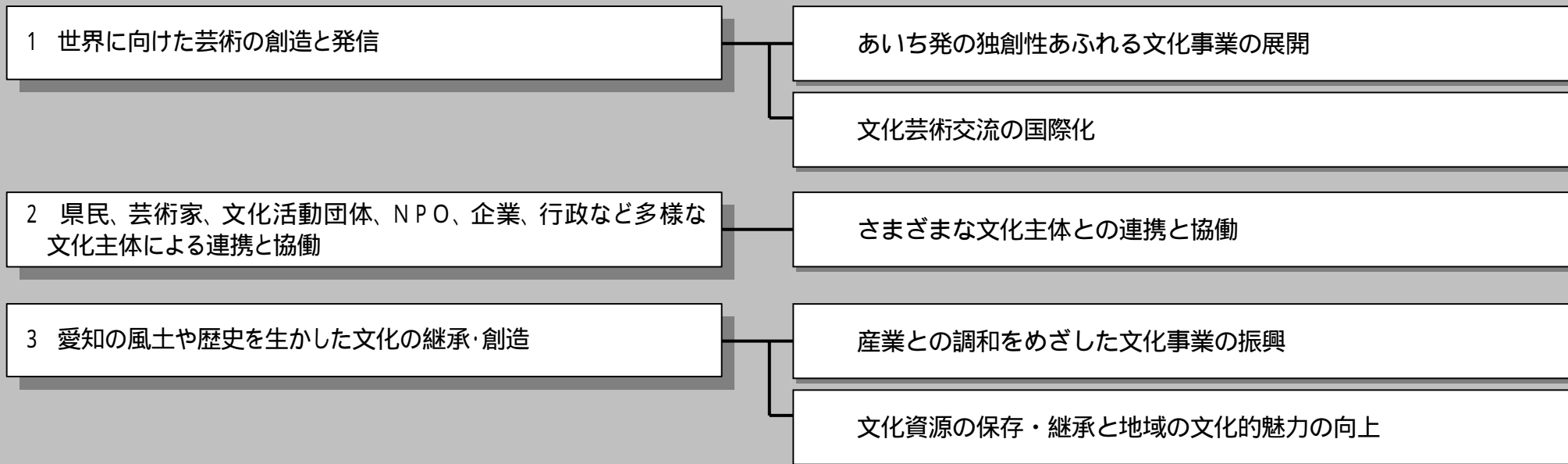
愛知文化芸術行動プラン ～ 3つの視点・8つの行動目標・12の行動メニュー～

3つの視点

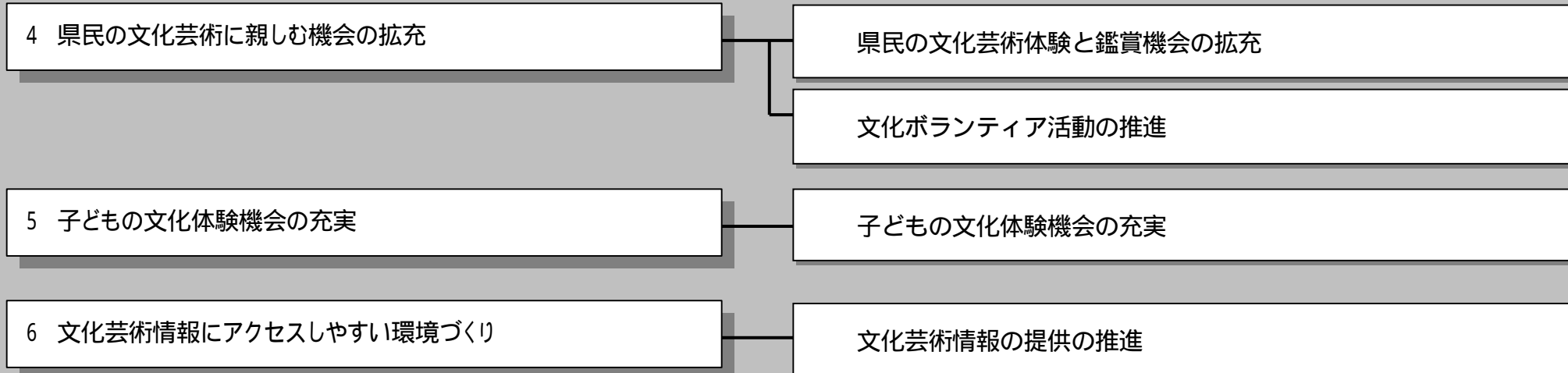
8つの行動目標

12の行動メニュー

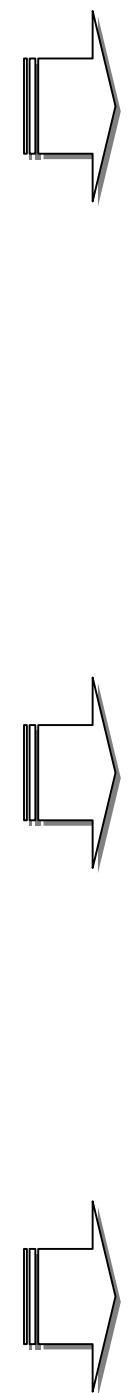
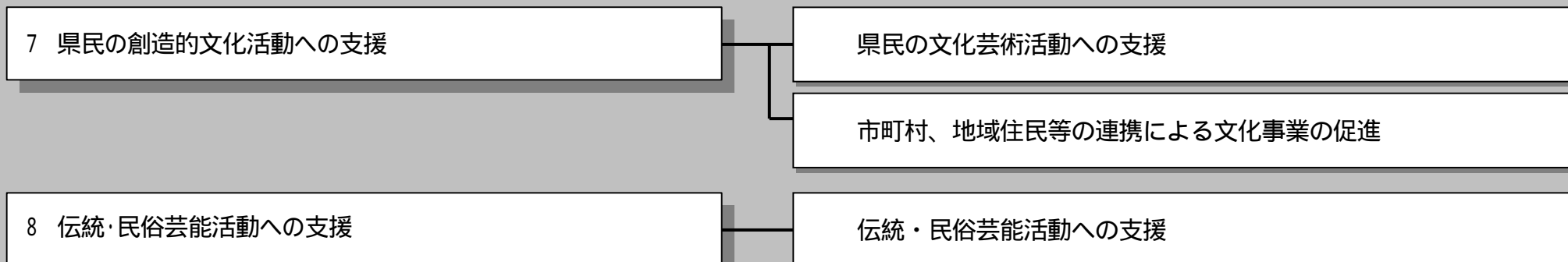
創造と発信
世界に開かれた「あいち文化」の創造と発信の推進



感動と体験
県民誰もが、どこでも、文化芸術に自由に親しむ環境の整備



支 援
創造性と自主性を発揮する文化芸術活動の促進



魅力ある愛知の文化の創造 生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現

「創造と発信」の視点からの行動メニューと主な施策展開（その1）

万博関連施策、重点施策（行動目標の達成に向け重点的に展開する施策をいう。）は、網掛け表示。

行動目標	行動メニュー	主な施策の展開			個別目標	効果		
		平成15(2003)～16(2004)年度	平成17(2005)年度	平成18(2006)～19(2007)年度				
目標1 世界に向けた芸術の創造と発信	あいち発の独自性あふれる文化事業の展開	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 芸術文化センター・陶磁資料館・文化振興事業団 万博開催期文化発信事業 </div>				芸術文化センター及び陶磁資料館の文化発信事業の拡充 愛・地球博開催期における舞台芸術フェスティバルの創設、継続化の仕組みづくり 文化芸術の国際化、多面的な国際交流の展開 舞台芸術を中心とした芸術文化の発信	愛知の文化芸術の創造を促進する。 文化芸術の情報発信性が高まる。 海外への情報発信の継続化が期待できる。 愛知のアイデンティティの向上につながる。 国際交流の活性化が期待できる。 芸術文化センターの海外への情報発信の強化が図られる。	
		舞台芸術フェスティバルの立案・企画	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 実行委員会方式の舞台芸術フェスティバル開催 </div>		舞台芸術フェスティバルの継続開催に向けた体制づくり			
	文化芸術交流の国際化	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 本県の友好提携に基づく交流派遣団の派遣やアジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟のネットワーク活用による文化芸術交流の国際化の検討 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 文化・産業等をキーワードとした国際交流の推進 </div>			
					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 舞台芸術を中心とした芸術文化の発信 </div>			
目標2 県民、芸術家、文化活動団体、NPO、企業、行政など多様な文化主体による連携と協働	さまざまな文化主体との連携と協働	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> さまざまな文化主体で構成する自主運営組織「プラットフォーム」に関する関係者ヒアリングや調査研究を実施 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「文化芸術プラットフォーム」づくりの促進 </div>		多様な文化主体との連携・協働 県・市町村の文化行政のネットワークの充実と市町村文化行政研究会の創設	多様な文化主体の新たなネットワークとパートナーシップの形成が実現できる。 地域特性に応じた自治体間文化交流が可能となる。また、市町村の連携・協働による自主企画事業の創出や事業の質的向上が見込まれる。
		市町村文化行政研究会の設置準備	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 近隣市町村で構成する市町村文化行政研究会の創設と運営 </div>					
	さまざまな文化主体との連携と協働	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 公立文化ホール系：愛知県公立文化施設協議会を活用したネットワークの活性化、県内公立文化ホールにおける事業展開への支援、事業連携 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 公立文化施設のネットワークの継続・発展 自主企画事業の連携・協働 </div>		公立文化施設のソフト面のネットワークの拡充	地域文化の創造・発信の促進が可能となる。 芸術文化センター及び陶磁資料館の中核的文化拠点性が高まる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 公立美術館・博物館系：愛知県博物館協会を活用したネットワークの活性化、県内公立博物館における事業展開への支援、事業連携 </div>						

「創造と発信」の視点からの行動メニューと主な施策展開（その2）

万博関連施策、重点施策（行動目標の達成に向け重点的に展開する施策をいう。）は、網掛け表示。

行動目標	行動メニュー	主な施策の展開			個別目標	効果		
		平成15(2003)～16(2004)年度	平成17(2005)年度	平成18(2006)～19(2007)年度				
目標3 愛知の風土や歴史を生かした文化の継承・創造	産業との調和をめざした文化事業の振興	陶磁資料館：産業陶磁関連の展示事業の推進、県内外の主要窯業地との連携・協働による事業企画 愛知県デザインセンター：デザイン企画展示と情報提供			文化及び産業の振興に寄与する文化発信事業の創設や継続的展開	愛知ゆかりの文化芸術の創造を促進する。 文化芸術の情報発信性が高まる。 愛知のアイデンティティ向上につながる。 生きがいに満ちた、豊かで、潤いのある暮らしの実現が期待できる。		
		世界グラフィックデザイン会議・名古屋の開催						
		実験映像による文化発信事業の継続実施、映像やニューメディアに舞踊や音楽を取り入れた本県独自の事業展開について可能性を検討					愛知の特性に応じたメディア芸術に関する事業展開策を調査研究	
		メディア芸術に関する先進自治体、有識者、大学・研究機関、関連企業等との情報交換を行うとともに、メディア芸術の先進的取組みについて調査研究						
		地域文化資源のデジタル・アーカイブ化の推進、地域住民やNPO等が行う地域の文化的な魅力を高める活動との連携強化と活動の促進						
	文化資源の保存・継承と地域の文化的魅力の向上	デジタル・アーカイブ化のための基盤整備			愛知の特性に応じたメディア芸術に関する事業展開策を調査研究	新たな芸術の創造を促進する。		
		デジタル・アーカイブの充実と情報発信						
		地域の文化的な魅力を高める活動の促進とその成果の積極的な情報発信						
		本県の歴史資料の記録・保存及び愛知県史の編さん・刊行					愛知県史の編さん・刊行	県民のふるさと愛知に対する理解を深めることができるとともに、学術及び文化の振興が期待できる。
		文化財の保存と活用						

「感動と体験」の視点からの行動メニューと主な施策展開（その1）

万博関連施策、重点施策（行動目標の達成に向け重点的に展開する施策をいう。）は、網掛け表示。

行動目標	行動メニュー	主な施策の展開			個別目標	効果
		平成15(2003)～16(2004)年度	平成17(2005)年度	平成18(2006)～19(2007)年度		
目標4 県民の文化芸術に親しむ機会の拡充	県民の文化芸術体験と鑑賞機会の拡充		世界バレエ・モダンダンスコンクールの開催（共催）		優れた文化芸術の鑑賞機会の充実	文化芸術を身近で享受することができる。 さまざまな県民の文化芸術体験の機会を拡充することにより、心豊かな社会の形成につながることを期待できる。
		クラシックコンサートシリーズ等の開催（支援）				
		視覚障害者が気軽に美術鑑賞できるプログラムの充実				
		託児室や親子室（席）の確保、手話等の公演など公演・展示等での利用者への配慮の充実				
		高齢者、障害者、乳幼児を持つ親たちなどの文化芸術活動を支援する団体の実態把握及び県関係課室との連携	左記団体に対する情報提供などの連携、活動の支援・促進			
		（財）愛知県国際交流協会等との連携による多言語での文化情報の提供				
		外国人に配慮した展示環境や公共サインの整備				
		通訳や外国人サポート等ボランティア活動の促進				
		文化ボランティアグループに関する情報収集・提供				
		文化ボランティアリーダーの育成策の検討				
	文化ボランティアの相互交流、研修などの機会の提供					
	文化ボランティア活動の推進				外国人に配慮した文化情報の提供 ソフト、ハード両面にわたる外国人向けの文化環境づくり	愛知の文化芸術を県内外外国人にも情報発信することが可能となり、国際交流の活性化に寄与する。
					文化ボランティア活動の促進・育成	多くの県民が、文化ボランティア活動に参加しやすい環境づくりができる。

「感動と体験」の視点からの行動メニューと主な施策展開（その2）

万博関連施策、重点施策（行動目標の達成に向け重点的に展開する施策をいう。）は、網掛け表示。

行動目標	行動メニュー	主な施策の展開			個別目標	効果
		平成15(2003)～16(2004)年度	平成17(2005)年度	平成18(2006)～19(2007)年度		
目標5 子どもの文化体験機会の充実	子どもの文化体験機会の充実	優れた舞台芸術の鑑賞、体験活動の推進			子どもを対象にした舞台芸術の鑑賞や体験活動の推進 親子を対象とした舞台芸術鑑賞事業の継続実施 芸術家、実演団体等の学校派遣と文化体験活動の推進 「総合的な学習の時間」に関する支援・協力 知事部局と教育委員会の連携強化	子どもを対象にした文化芸術体験の機会を文化施設や学校現場で提供することにより、次代を担う子どもたちの創造性豊かな人間性と多様な個性を育むことが期待できる。
		親子ふれあい芸術劇場の開催				
		芸術家・実演団体・伝統芸能保持者等の学校派遣				
		公立文化施設における「総合的な学習の時間」への支援・協力、芸術家派遣体制の検討、実施				
		知事部局と教育委員会の連絡調整会議の設置・運営				
目標6 文化芸術情報にアクセスしやすい環境づくり	文化芸術情報の提供の推進	県美術館及び陶磁資料館の収蔵品に関するデジタル化・データベース化の計画的推進及びインターネット上のホームページコンテンツの一層の充実			デジタルミュージアム構想の推進 文化芸術情報に関するホームページ上の情報内容の体系化と充実 文化芸術情報ネットワークの構築 民俗文化財等の記録済みアナログ資料のデジタル化と「学びネットあいち」の学習コンテンツの充実	県美術館及び陶磁資料館の所蔵品情報を自由に閲覧することができる。将来的には、ネット上での情報交流の促進が期待できる。 ネット上での文化芸術情報へのアクセスが容易となり、より時宜にかなった情報の提供ができる。 民俗文化財に関する記録を半永久に保存することができる。更に、ネット上での情報交流が促進し、愛知発の文化情報の充実が期待できる。
		文化芸術系ホームページにおける情報内容の体系化と充実				
		県・市町村の文化芸術情報ネットワークの構築及び文化芸術専門ホームページのポータルサイト（情報窓口）の創設に関する調査研究				
		県庁、文化拠点施設及び文化振興事業団が所管する文化芸術情報に関する情報収集・提供方針の検討・調整、ホームページコンテンツの体系化の検討				
		民俗文化財等に関する記録済みアナログ資料のデジタル化と「学びネットあいち」の学習コンテンツの充実				

「支援」の視点からの行動メニューと主な施策展開

万博関連施策、重点施策（行動目標の達成に向け重点的に展開する施策をいう。）は、網掛け表示。

行動目標	行動メニュー	主な施策の展開			個別目標	効果		
		平成15(2003)~16(2004)年度	平成17(2005)年度	平成18(2006)~19(2007)年度				
目標7 県民の創造的 文化活動への支援	県民の文化芸術 活動への支援	文化活動事業費補助制度の 見直し検討	文化活動事業費補助制度を活用した県民の文化活動の支援 文化発信性の高い事業や新規又は先駆的の事業の促進を図り、創造的な文化づくりをめざすための財政支援を実施		文化活動事業費 補助制度の見直しと 効率的運用	文化発信性の高い文 化活動、新規性・先駆的 文化活動事業の促進が 期待できる。		
		海外留学や国内研修への支援の情報提供 若手芸術家を対象とした活動の機会・場の提供に関する調査研究					新進芸術家の研修 機会の提供支援 若手芸術家の活動 の場の提供	次代の文化芸術を担 う人材育成に寄与する。
		愛・地球博地域連携プロジェクト支援事業の推進		住民、市町村等による広域連携型文化発信事業への支援			広域連携型文化 発信事業の支援	広域的視野に立った 文化情報発信事業の展 開が期待できる。
	市町村、地域住民 等の連携による 文化事業の促進	公立文化施設等における自主 企画事業の統一広報の実施						
		愛・地球博における 伝統芸能等の催事開催						
目標8 伝統・民俗芸能 活動への支援	伝統・民俗芸能活 動への支援	伝統・民俗芸能活動団体の交流と後継者育成の促進 文化活動事業費補助制度を活用した伝統・民俗芸能の後継者育成の支援			伝統・民俗芸能活動 団体の交流や広域連 携の促進	伝統・民俗芸能活動の 活性化が期待できる。		
		伝統・民俗芸能活動及び発表の「場」の提供（ふるさと芸能祭・民俗芸能大会の開催）			民俗芸能活動の継 承と後継者育成の促 進			
		愛・地球博会場にお ける愛知の伝統芸能 等の披露			民俗芸能活動及び 発表の「場」の提供	民俗芸能の継承と発 展に寄与することが期 待できる。		